

## ■ 市政戦略編の見方

**戦略1 来るべき未来社会を見据えて、すべての子ども達が夢を育み  
チャレンジできる環境を創出**

小牧市戸籍  
見据えて、さら  
応援するまち」  
の世代が暮ら

【まちの状態を表す指標】は、「都市ビジョン」にどの程度  
近づいているのかを客観的に確認するための指標です。  
基準値は原則として平成30年度実績値、それ以外の場合  
は( )書きで基準年度を示しています。

社会を  
みんなで  
すべて

### 【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	目指す方向
将来の夢や目標を持っているこどもの割合	79.1%	81.6%	82.4%	↗
安心して子育てができるまちだと思う保護者の割合	82.6%	88.1%	85.9%	↗

### ＜重点事業1-1 すべての子ども達が夢を育み挑戦できる環境の整備＞

指標名	基準値	R1	R2	目標値(R4年度)
コマキッズドリームプロジェクトに参加したこどもの数	6,922人	7,362人	9,647人	10,000人

【事業の進捗状況を測定するための指標】で、事業の実施  
によって直接生み出された成果を客観的に確認するための  
指標です。  
基準値は原則として平成30年度実績値、それ以外の場合  
は( )書きで基準年度を示しています。

**戦略1 来るべき未来社会を見据えて、すべての子ども達が夢を育み  
チャレンジできる環境を創出**

小牧市の誇る「子育て支援が充実している」姿を一層高めるとともに、未来社会を見据えて、さらに高い地域の姿として「子どもの夢を育み、夢へのチャレンジをみんなで応援するまち」「子どもを中心にすべての世代がつながっているまち」、そして、「すべての世代が暮らしやすい、あたたかい支え合いのまち」を目指します。

**【まちの状態を表す指標】**

指標名	基準値	R1	R2	目指す方向
将来の夢や目標を持っている子どもの割合	79.1%	81.6%	82.4%	↗
安心して子育てができるまちだと思える保護者の割合	82.6%	88.1%	85.9%	↗

**<重点事業1-1 すべての子ども達が夢を育み挑戦できる環境の整備>**

指標名	基準値	R1	R2	目標値(R4年度)
コマキッズドリームプロジェクトに参加した子どもの数	6,922人	7,362人	9,647人	10,000人

**<重点事業1-2 すべての子育て家庭への支援>**

指標名	基準値	R1	R2	目標値(R4年度)
子育て世代包括支援センターや各児童館での相談件数	6,320件	7,061件	6,668件	7,000件
子育てについて相談できる人がいる保護者の割合	96.9%	96.6%	95.3%	100%

**<重点事業1-3 Society5.0を見据えた教育の推進>**

指標名	基準値	R1	R2	目標値(R4年度)
タブレットPCを活用した授業はわかりやすいと感じている児童生徒の割合	—	78.9%	81.1%	85.0%

## こども夢・チャレンジ推進事業



こども未来部 こども政策課  
 子育て世代包括支援センター  
 教育委員会事務局 学校教育課

1 予算額 34,920千円

2 目的及び効果 「こども夢・チャレンジNo.1都市」の実現に向けて、こどもの夢を育み、夢へのチャレンジを応援する事業を展開し、世代を越えてつながるまちづくりを進めます。

### 3 事業概要

#### ○夢にチャレンジ助成金支給事業 2,073千円(こども政策課)

自分の夢を実現するための計画を募集し、チャレンジしたい内容をプレゼンしてもらい、優秀者に助成金を支給します。

【対象】15歳以上25歳以下の高校生、大学生、社会人等及び市内在学の学生。本人もしくは、保護者が住民登録等。  
 (市内在学の場合は住民登録がなくても可。)

【助成額】上限30万円

自分の夢を自ら考え、その夢を発表する場を設け、将来助成金を利用してもらおう契機とします。

【対象】市内在住の中学生

【発表記念品】 図書カード1万円分 【参加記念品】 図書カード1千円分

#### ○大学生等海外留学奨学金支給事業 4,850千円(こども政策課)

海外の大学等に、3ヶ月以上留学しようとする大学生等に奨学金を支給します。

【対象】15歳以上25歳以下の高校生、大学生、社会人等。本人もしくは、保護者が住民登録等。

【助成額】留学先の国・地域に応じて、12ヶ月を上限として、月額4～5万円を支給。

○学習支援事業「駒来塾」4,167千円(こども政策課)

経済的理由により学習塾に通えない、家庭環境により家で学習する機会がないなど、学習意欲があっても学力の定着が進んでいない中学生を対象に、教員OBや教員を志望する大学生など地域の協力を得て、一定レベルの学力が定着できるよう学習支援を実施します。

【対 象】 中学1・2・3年生（学習塾に通っていないこと）

【教 室】 東部地区(篠岡中・桃陵中・光ヶ丘中)

北里地区(北里中・小牧西中)

味岡地区(味岡中・岩崎中)

小牧地区(小牧中・応時中)

【開催日】 毎週木曜日 午後6時30分～8時

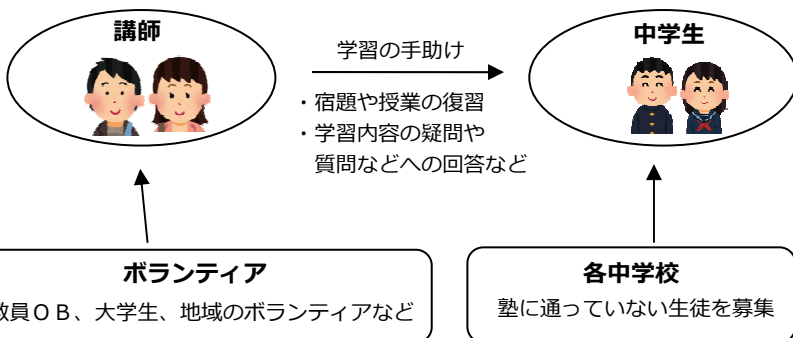
【実施場所】 東部市民センター、北里市民センター、

味岡市民センター、中部公民館

【参加費】 無料

※駒来塾のイメージ

基礎学力の定着をめざして学習支援活動を実施します。



## ○JFAこころのプロジェクト「夢の教室」開催事業 11,530千円(学校教育課)

JFAこころのプロジェクト「夢の教室」(日本サッカー協会)のカリキュラムにより、様々なスポーツ選手が「夢先生」となり、「夢の教室」と題した90分の授業を学校で実施します。毎年、小学校5年生を対象としますが、新型コロナウイルスの影響により令和3年度に開催できなかった小学校6年生も対象とし、子どもたちの心身の成長を図ります。

## ○ひとり親家庭等支援事業 12,300千円(子ども政策課、子育て世代包括支援センター)

ひとり親家庭等の子どもが大学等に進学しやすい環境をつくり、また親子の学び直しを支援することで、より良い条件での就職や転職に向けた可能性を広げ、安定した雇用につなげていきます。

### ひとり親家庭等支援事業

ひとり親家庭等入学支援金給付事業12,000千円(子ども政策課)

ひとり親家庭等の子どもが大学等に入学する際の準備に必要な費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ることで、進学しやすい環境をつくり、自立を支援します。



ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業

300千円(子育て世代包括支援センター)

高校を卒業していないひとり親家庭の20歳未満の児童を対象に、高等学校卒業程度認定試験の合格を目指す講座受講料の一部を助成します。

## 充実 子育て世代包括支援センター運営事業



こども未来部 子育て世代包括支援センター

1 予算額 182,910千円

2 目的及び効果 妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない子育て支援を行う「子育て世代包括支援センター」を運営することで、一層の子育て支援を推進します。

3 事業概要

### ① 母子保健型利用者支援事業 7,213千円

1)利用者支援事業 310千円

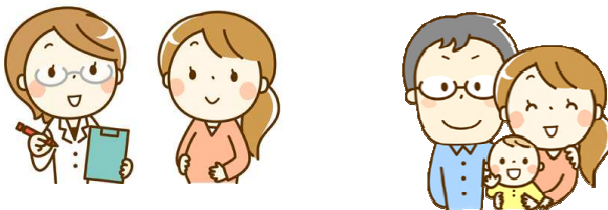
妊娠期から子育て期にわたる様々な相談に応じ、その状況を継続的に把握し、関係機関と協力してサポートプランの作成やサービスの調整などを行います。

2)セカンドブック事業 6,653千円

1歳の誕生日の節目にサポートプランを見直して、育児相談や必要な情報提供等の支援を行い、保護者の育児不安を取り除きます。また、絵本をプレゼントすることで、読み聞かせを通して、親と子の愛着形成を促進し、親と子の自己肯定感を育みます。

3)新規 妊産婦巡回バス乗車支援事業 250千円

妊産婦を対象に、こまき巡回バス「こまくる」に無料で乗車することができるフリーパスを配布し、巡回バスの利用促進を図るとともに妊産婦の外出を支援します。



**② 妊婦・産婦・乳児個別健康診査事業 127,650千円**

妊婦・胎児、産婦・乳児に対する健康診査等にかかる費用を助成することで、健康診査を受診勧奨します。また、健康意識を高めるとともに、疾病の早期発見・早期治療を促進し、安心して出産・育児ができるようにします。

**③ 充実 妊娠・出産包括支援事業 5,832千円**

産後うつ対策として、産後に心身の不調又は育児不安があり、家族から支援が得られない産婦とその児を対象に、産科医療機関等に宿泊及び通所し、心身のケアや育児サポートを行い、安心して子育てができるように支援します。また自宅等に訪問する育児サポートも実施し、産婦のニーズに合った支援を行います。

**④ 産前産後ヘルパー派遣事業 720千円**

妊娠中から産後6ヶ月(多胎の場合は12ヶ月)にかけて、夫や祖父母など周りからの子育て支援が見込めない家庭にヘルパーを派遣して家事支援を行います。

**⑤ 一時預かり事業 25,076千円**

保護者の外出や育児に伴う負担などの理由で、家庭で保育することが困難な場合や子育て中の保護者のリフレッシュのため、生後6ヶ月から就学前の乳幼児を子育て世代包括支援センター内で4時間を限度に預かります。

**⑥ 子ども家庭総合支援拠点事業 11,165千円**

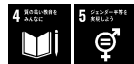
児童虐待等に対して迅速に対応できるよう、児童虐待対応専門員、家庭児童相談員を配置します。

**⑦ 女性相談事業委託 5,254千円**

女性相談に寄せられた情報を速やかに共有し、必要な支援に繋げるため、子育て世代包括支援センター内に女性相談窓口を設置し、児童虐待とDV等への対応を一体的にサポートできる体制を整備します。

充実

## 放課後子ども総合プラン運営事業



こども未来部 こども政策課

- 1 事業年度 令和4年度～令和6年度
- 2 予算額 4,702千円
- 3 目的及び効果 全ての児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、放課後子ども総合プランの導入を進めます。

### 4 事業概要

事業年度	事業内容
令和3年度	・2小学校(小牧・光ヶ丘)においてモデル事業を実施 ・全校実施に向けた導入計画を策定
令和4年度	・6小学校(小牧・三ツ淵・味岡・篠岡・小牧原・光ヶ丘)において実施
令和5年度	・12小学校において実施
令和6年度	・全校実施

#### 【放課後子ども総合プラン】

共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、文部科学省と厚生労働省が協力し、一体型を中心とした児童クラブ及び放課後子ども教室の計画的な整備等を進めることとして、平成26年度に策定されたもの。





充実

## こまきこども未来館運営事業



こども未来部 多世代交流プラザ

1 予算額 148,737千円

## 2 目的及び効果

「こども夢・チャレンジNo.1都市宣言」の理念を実現する施設として、「未来リテラシーを育む」というコンセプトのもと、子ども達にこれからの未来を力強く生き抜く力を育てる豊かな「学び」を提供し、小牧の子ども達やまちの「成長のシンボル」として、いつまでも愛される施設を目指して運営します。

## 3 主な事業概要

## (1) 充実 子ども未来館講座開催委託

地域のサポーターや企業、大学などと協力し、体験ひろばにおいて、遊びや体験を通じて子ども達自身の学びにつなげられる講座を開催します。また、令和4年度より、こどもの夢への挑戦をまち全体で応援する「こまきこども未来大学」やものづくりに携わる人材を育成する「少年少女発明クラブ」を実施します。

## (2) こまき巡回バス運賃負担

市内全域の児童が気軽にこまきこども未来館に来館できるよう、こまき巡回バス「こまくる」を利用した際の児童の運賃を市が負担します。





## 戦略2 “健康・生きがいづくり”と“支え合いの地域づくり”の循環により、自分らしくいきいきと安心して暮らすことができる「活力ある高齢社会(小牧モデル)」を構築

すべての市民が健康で生きがいのある人生を生きつつ、市民同士が地域で互いに支え合い助け合う、「健康」と「支え合い」が循環するまちを目指します。

スポーツや生涯学習(社会教育)の充実を通じて、健康・生きがいづくりを支援するとともに、個人の学びを地域に還元し地域を支える担い手を育成し、市民活動・地域活動の充実を図ります。

そして、市民と行政などの協働による地域単位での防災訓練や防犯対策の充実などを通じて、災害に強く、犯罪の起こりにくい安全な地域づくりを進めるとともに、こまき巡回バスを含む高齢者の外出支援や見守りの充実に取り組みます。

さらに、医療・介護・福祉などの体制や連携の充実を図り、健康維持・介護予防活動などを強化し、地域における支え合い活動の充実とともに、年をとっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちを目指します。

### 【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	目指す方向
生きがいを持って暮らしている65歳以上の市民の割合	82.9% (平成29年度)	76.6%	77.8%	↗
地域に貢献する活動をしている市民の割合	22.7% (令和元年度)	—	19.3%	↗

### ＜重点事業2-1 (仮称)健康・支え合い循環都市宣言＞

【事業の進捗状況を測定するための指標は設定しません。】

<重点事業2-2 市民の健康寿命の延伸>

指標名	基準値	R1	R2	目標値(R4年度)
週1回以上適度な運動をしている成人市民の割合	46.1%	52.2%	53.1%	65.0%
フレイル予防事業への参加者数	1,500人	1,795人	1,426人	3,700人
日頃から口腔ケアをしている市民の割合	62.6% (令和元年度)	—	61.4%	65.0%

<重点事業2-3 生涯学習を通じた生きがいづくりと人材育成>

指標名	基準値	R1	R2	目標値(R4年度)
生涯学習に関する講座の受講者数	7,970人 (令和元年度)	—	1,737人	10,000人
こまき市民交流テラスが関わった活動への参加者数	323人 (令和2年度)	—	—	600人

<重点事業2-4 地域協議会を通じた地域活動の活性化>

指標名	基準値	R1	R2	目標値(R4年度)
地域協議会が設立された数	8組織	11組織	13組織	16組織
福祉分野の活動をしている地域協議会の数	2組織	4組織	5組織	16組織

<重点事業2-5 健康・支え合い活動の充実と地域内循環の促進>

指標名	基準値	R1	R2	目標値(R4年度)
健康いきいきポイント還元者数	1,088人	1,478人	2,198人	2,000人
支え合いいきいきポイント還元者数	849人	1,008人	774人	2,000人
市内でプレミアム商品券が使える店舗数	569店	582店	611店	現状維持

新規

## 健康・支え合い推進事業



健康生きがい支え合い推進部 支え合い協働推進課

- 1 予算額 6,414千円
- 2 目的及び効果 すべての市民が健康で生きがいのある人生をおくり、市民同士が地域で互いに支え合い、助け合いが広がることで、「健康」と「支え合い」が循環し、将来にわたって安心して暮らし続けることができるまちを目指します。
- 3 事業概要 有識者などで構成する「(仮称)健康支え合い循環戦略会議」を開催し、“健康・生きがいづくり”と“支え合いの地域づくり”を推進するための在り方や「(仮称)健康・支え合い循環都市宣言」についての議論を進めます。

小牧市民憲章に掲げる理想のまち実現に向け、まちづくり推進計画第1次基本計画の都市ビジョン 2「健康・支え合い循環都市」において、「活力ある高齢社会(小牧モデル)」を目指すと掲げられています。



充実

## 高齢者外出支援事業



福祉部 地域包括ケア推進課

1 予算額 19,500千円

2 目的 介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、一般タクシーやリフト付きタクシー等の利用料金の一部を助成する利用券を交付することにより、高齢者の日常生活における外出支援及びその家族の負担軽減を図ります。

### 3 事業概要

(1) **充実** 高齢者外出支援サービス事業

要介護3以上の方を対象とし、行き先を医療機関や福祉サービスの実施場所までに限定したリフト付きタクシー等料金の一部を助成する利用券を、現行12枚から24枚に拡充します。

【利用券】1時間又は20kmまで(24枚/年)

(2) **新規** 高齢者タクシー料金助成事業

要介護1以上の方を対象とし、行き先を限定しない一般タクシーの初乗料金分の利用券を交付します。

【利用券】初乗料金分(24枚/年)

※令和4年度は10月開始のため12枚



充実
----

## 家族介護用品支給事業



福祉部 地域包括ケア推進課
---------------

1 予 算 額      23,736千円

2 目            的      介護用品を支給することで、介護者の経済的な負担の軽減を図ります。

3 事 業 概 要      月額6,000円の利用券を交付することにより、介護を行う家族等を支援します。

- ・ 新たに在宅で要介護3の方を介護している市民税非課税世帯の方を対象者とします。
- ・ 在宅で要介護4以上の方を介護している方については、所得制限を廃止します。



新規

## 口腔がん検診事業



健康生きがい支え合い推進部 保健センター

1 予算額 1,111千円

2 目的及び効果 口腔がんは、口腔内の粘膜にできるがんであり、比較的進行が早いのが特徴です。



病状によっては、舌や下顎の切除が必要になる場合もあり、食事や発声に影響を与えるなどQOL(生活の質)の低下につながることから、早期発見・早期治療につなげることができるよう、小牧市歯科医師会と連携し、検診体制を構築します。

### 3 事業概要

小牧市歯科医師会と連携し、集団による口腔がん検診を実施します。問診、視診に加え、蛍光観察装置を用い、がんの早期発見に努めます。この実施にあたっては小牧市歯科医師会が中心となり運営を行い、市はこの取組を補助します。また、広報及びホームページなどで周知し、意識の高揚を図るとともに、口腔がん検診の受診を促し、早期発見・早期治療につなげることができるよう支援します。

《参考》

小牧市歯と口腔の健康づくり推進条例

第8条 市は、市民の歯と口腔の健康づくりを推進するため、次に掲げる施策を講ずるものとする。

(5)成人期における歯周病、口腔がん等の歯科疾患の予防、早期発見及び早期治療を促すための取組並びに歯科健診の受診の促進のための施策





# こまき市民交流テラス ワクティブこまき



## 運営事業

健康生きがい支え合い推進部 支え合い協働推進課

1 予算額 29,220千円

2 目的及び効果 市内で行われている様々な活動の連携を促す拠点として、社会に貢献したい、就労したい、趣味を見つめたいなど、なんらかのアクションを起こしたいという志を持った方々を包括的に支援します。



3 事業概要(主なもの)

(1)こまき市民活動祭

団体やボランティア、企業、行政などが一堂に集まり、市民活動の楽しさと大切さを市民の皆さんに紹介します。

(2)市民活動講座

市民活動の裾野を広げるための各種講座を開催します。



(3)ボランティアマッチング

活動したい個人とメンバーを募集している団体などをコーディネートします。

(4)まちのかたり場

小牧をもっとよくなりたい！という志を持った方々が集まり、まちづくりのアイデアを話し合います。

(5)市民と行政のテーマ別意見交換会

“協働パートナー”である市民活動団体と行政職員がテーマ別に意見交換を行い、顔の見える関係を築きます。

## 新規 市民会館・市公民館施設整備事業



健康生きがい支え合い推進部 文化・スポーツ課

- 1 事業年度 令和4年度～6年度
- 2 予算額 72,640千円
- 3 目的及び効果 市民会館・市公民館は昭和46年に建設され、老朽化が進んでいるため、施設を安全・安心、また、快適に利用していただけるよう、施設設備等の整備を行います。

### 4 事業概要

#### (1)市公民館施設整備事業

文化活動や学びの拠点である市公民館の展示場等について、展示機能の充実など多様なニーズに対応できるよう、改修・更新工事を行います。

#### (2)市民会館施設整備事業

空調機改修工事、トイレ等改修工事、正面玄関建具改修工事、ホール舞台機構設備改修工事、ホールITV改修工事、非常用ディーゼル自家発電設備更新工事、操作・制御・非常照明用直流電源装置更新工事、受電設備更新工事、ホール空調機改修工事を行います。

※令和4年度 設計委託  
令和5～6年度 工事、監理委託



## 新施設予約システム構築事業



健康生きがい支え合い推進部 文化・スポーツ課

- 1 予算額 37,796千円
- 2 目的及び効果 現在の施設予約システムは、空き状況の確認はできますが、利用者が直接入力を行うことはできないため、新たな機能を持たせたシステムを構築し、市民サービスの向上と事務の効率化を図ります。
- 3 事業概要 オンライン予約やオンライン抽選、キャッシュレス決済などの機能を持たせた新たな施設予約システムを構築します。
- 4 運用開始時期 令和5年1月



## 地域協議会設立推進・活動支援事業



健康生きがい支え合い推進部 支え合い協働推進課

1 予 算 額 32,405千円

2 目 的 近年の都市化の進展やライフスタイル、価値観の多様化などを要因とする地域の“絆力”の低下や少子高齢化の進行に伴う様々な地域課題に対して、区(自治会)やその他の地域団体、地域住民の方々が連携協力し、地域づくりを補完する小学校区の新しいコミュニティ組織として「地域協議会」を創設し、安心して暮らし続けられる地域づくりを目指します。

3 効 果

- ◆意識高揚 ～誇りと愛着のある地域づくり～
- ◆相互補完 ～相乗効果を生み出す地域づくり～
- ◆課題解決 ～自ら取り組む特性を活かした地域づくり～

4 事業概要

- 地域協議会への財政支援及び人的支援  
地域助け合い交付金、市職員による地域パートナー制度など
- 設立に向けた機運の醸成、地域への働きかけ  
講演会や勉強会、説明会等の開催など
- 必要に応じた制度の見直し  
地域協議会推進市民会議の開催など

## 地域協議会の設立状況

	小学校区名	設立年月日(認定年月日)
1	陶	平成26年3月2日 (令和2年4月1日)
2	篠岡	平成27年4月5日 (令和2年4月1日)
3	小牧原	平成28年4月24日 (令和2年4月1日)
4	大城	平成29年6月25日 (令和2年4月1日)
5	本庄	平成30年2月25日 (令和2年4月1日)
6	味岡	平成30年3月24日 (令和2年4月1日)
7	光ヶ丘	平成30年11月10日 (令和2年4月1日)
8	小木	平成30年11月25日 (令和2年4月1日)
9	桃ヶ丘	令和元年6月23日 (令和2年4月1日)
10	小牧	令和元年10月26日 (令和2年4月1日)
11	北里	令和元年12月7日 (令和2年4月1日)
12	三ツ淵	昭和54年12月23日 (令和2年5月25日)
13	一色	令和2年6月1日 (令和2年6月5日)

## 地域協議会の主な活動内容

## ■課題解決事業

防災訓練、高齢者の生活支援活動、通学路の見守り活動等の地域の課題解決に向けて取り組む事業

## ■交流促進事業

まつり、運動会、コンサート等の地域住民の交流を深めるために学区で取り組む事業



▲学区一斉防犯パトロール(小牧原)



▲ふれあい農園(一色)

# 支え合いいきいきポイント推進事業



健康生きがい支え合い推進部 支え合い協働推進課  
福祉部 介護保険課

- 1 予算額 2,160千円(一般会計)  
3,991千円(介護保険事業特別会計)
- 2 目的 介護施設やサロン等でのお手伝い、高齢者のちょっとした困りごと支援などを通じ、地域での支え合い・助け合い活動の促進や、高齢者の介護への理解を深めます。  
また、活動に応じて、市内限定商品券と交換できるポイントを付与することで、活動に参加するきっかけづくりや、活動を続けていく励みになります。

## 3 事業概要

### ■介護施設ポイント

内容	市が指定する介護施設等での補助的なお手伝い(イベント、清掃など)をした場合にポイントを付与
対象者	18歳以上の市民
特徴	65歳以上の方は、介護保険料の一部をポイントで還元し、実質的に介護保険料負担を軽減
ねらい	介護への理解を深めるとともに、やりがいを感じながら、健康づくりを促進



▲グループホーム安心樹「脳トレの補助」

## ■サロンポイント

内 容	サロン等の運営(参加者の受付、準備、片付け)に協力した場合にポイントを付与
対象者	18歳以上の市民
特 徴	65歳以上の方は、介護保険料の一部をポイントで還元し、実質的に介護保険料負担を軽減
ねらい	サロン等の運営の協力者を募る仕組みをつくり、サロン活動を活性化



▲いきいきサロン三ツ山「サロン参加者の受付」

## ■地域ポイント

内 容	日常生活におけるちょっとした困りごと(庭の草取り、電球交換等)を支援した場合にポイントを付与 ※対象:地域協議会設立小学校区
対象者	18歳以上の市民(地域協議会が設立されている小学校区の区域内に在住)
特 徴	65歳以上の方は、介護保険料の一部をポイントで還元し、実質的に介護保険料負担を軽減
ねらい	地域協議会の協力者を募る仕組みをつくり、地域の支え合い活動を支援



▲しのおか おたすけ隊「除草作業」

## 健康いきいきポイント推進事業



健康生きがい支え合い推進部 健康生きがい推進課

1 予算額 7,079千円

2 目的及び効果 市民がいつまでも健康で暮らし続けることができるよう、健康づくりの習慣と関心を高め、楽しく継続できる環境づくりを推進することにより、健康寿命の延伸を目指します。

### 3 事業概要

(1) 健康いきいきポイント(対象:中学生以上の市民)

日常的な健康づくりの取組や検診、健康に関する講座等に参加することでポイントを付与し、一人ひとりの健康づくりを促進します。

(2) 子ども版健康いきいきポイント(対象:小学生)

家族と一緒に取り組んだ健康づくりの基本である「食・睡眠・運動・歯みがき」等に関連する取組に対しポイントを付与し、家族ぐるみの健康づくりを促進します。

(3) スマートフォン用ウォーキングアプリ「alko」

誰でも気軽に取り組めるウォーキングを推進し、継続した運動習慣の確立を促進するため、スマートフォン用ウォーキングアプリ「alko」により様々なチャレンジ企画を実施します。







**戦略3 「住みたい」「働きたい」「訪れたい」魅力あふれる小牧を創造**

持続可能な都市運営とすべての世代にとって快適な生活環境を実現するため、地域振興のバランスを図りつつ、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考えに基づいたまちづくりを進めます。

まちの核としての中心市街地の目指すべき将来像や取組みの方向性を示す「ランドデザイン」を描き、中心市街地の魅力とにぎわいを創出するとともに、新たな魅力を備えた暮らしたくなる東部のまちづくりを目指し、「東部振興構想」を策定します。あわせて西部地区についても、道路整備や渋滞緩和などに取り組みます。

また、小牧市の強みであるバランスの良い産業集積を持続的に高め、企業の新事業展開や生産性の向上を支援し、将来にわたって経済・雇用・財政の基盤が確立された活力あるまちを目指します。

**【まちの状態を表す指標】**

指標名	基準値	R1	R2	目指す方向
小牧市に愛着や誇りを感じている市民の割合	74.9%	80.3%	81.2%	↗
名鉄小牧線沿線居住人口	88,704人	89,095人	89,254人	↗

**<重点事業3-1 中心市街地の魅力とにぎわい創出>**

指標名	基準値	R1	R2	目標値(R4年度)
中心市街地の来訪者数	—	—	3.2万人	75万人

**<重点事業3-2 東部地区の振興>**

【事業の進捗状況を測定するための指標は設定しません。】

**<重点事業3-3 将来を見据えた市内産業力の強化>**

指標名	基準値	R1	R2	目標値(R4年度)
こまき新産業振興センターの支援活動を契機に生産性を向上させた企業数	—	3件	6件	20件
生産拠点などの新增設件数	—	5件	11件	10件

## ＜重点事業3-4 プレミアム商品券による商業振興＞

指標名	基準値	R1	R2	目標値(R4年度)
市内でプレミアム商品券が使える店舗数	569 店	582 店	611 店	現状維持

## ＜重点事業3-5 小牧市の食や名産品の普及・開発＞

指標名	基準値	R1	R2	目標値(R4年度)
食・名産品の開発件数	0 件	0 件	0 件	3 件

新規

## 中心市街地活性化事業

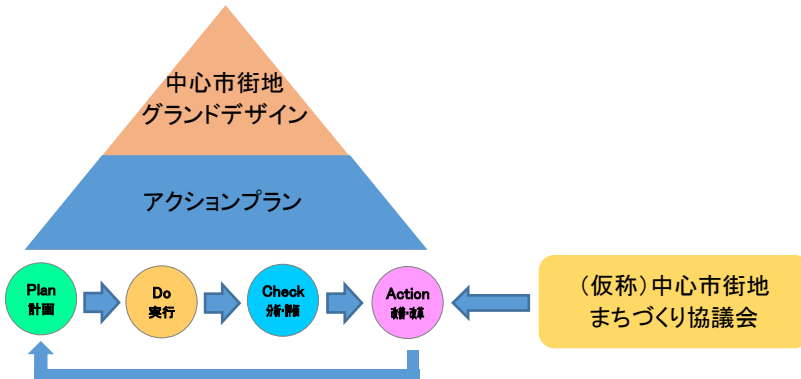


都市政策部 都市整備課

1 予算額 234千円

2 目的及び効果 「中心市街地グランドデザイン」に基づき、将来にわたって魅力と活力の続く中心市街地としていくため、「(仮称)中心市街地まちづくり協議会」や庁内関係部署と連携しながら各種事業を進め、まちの将来像の実現を目指します。

3 事業概要 令和4年度は、住民や商店、関係団体等で構成する「(仮称)中心市街地まちづくり協議会」を設置します。中心市街地における当面の取組をまとめた「中心市街地グランドデザインアクションプラン」を作成するとともに、実施事業の進捗管理を行うことで、中心市街地の目指す姿を共有し、連携・協働して事業を実施します。



事業の進捗管理

## 小牧駅周辺整備事業



都市政策部 都市整備課

1 予算額 36,250千円

2 目的及び効果 小牧駅周辺において、駅利用者の利便性の向上と市の玄関口としての魅力を高め、まちの賑わいを創出するため、東西の小牧駅前広場や駅東公園などの再整備を進めます。

3 事業概要 令和4年度は、駅東側の再整備に向けた実施設計及び駅西駅前広場のエレベーターから小牧駅までの間にシェルター(屋根)を整備するための実施設計等を行います。



駅東駅前広場

## 中央図書館運営事業



教育委員会 図書館

1 予算額 221,833千円

### 2 目的及び効果

豊富な蔵書と多種多様な座席を配置した居心地の良い滞在型の中央図書館において、市民ニーズに対応した図書館サービスを行うことにより図書館の利用者数の増加を図ります。また、ひいては中心市街地の活性化に寄与することを目的とします。

### 3 事業概要

中央図書館では、主に次のとおりの図書館サービスを行います。

■開館時間：午前9時から午後9時まで

(1階のカフェを含むエントランス部は、午前8時から開館)

■蔵書：約27万点(雑誌約300誌)、電子書籍約1,000タイトルの提供。市民要望を基に図書等の購入を実施

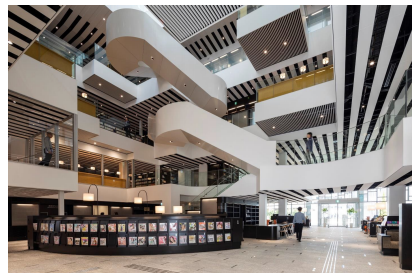
■自動貸出機、自動返却機等の導入による図書館運営のICT化(スマートフォンやマイナンバーカードを利用者カードとして活用)

■Wi-Fi環境の提供、タブレット端末やCD・DVD視聴機の貸出

■データベースの提供

■読書バリアフリーサービス

■イベントスペースでのイベントの開催



## 充実

## 東部まちづくり推進事業



都市政策部 東部まちづくり推進室

1 予算額 7,052千円

- 2 目的及び効果 東部振興構想に基づき、まちの将来像を実現するための取組を推進します。あわせて、住民をはじめ、東部地域に関係する人たちが共通認識を持ち、より関係を深く、地域関係者と協力・連携した取組を推進します。



東部振興構想 2022～2031年度

## 3 事業概要

## ○新規 東部まちづくりプラットフォームの構築

東部振興構想の実現に向けて、取組の中心となる地域を取り巻く様々な主体をつなげる場となる「プラットフォーム」を構築していきます。

## ○新規 東部地域トライアル活動支援補助金

住民等によるまちづくりの取組促進を図るため、トライアル活動に対する支援を行います。

## ○桃花台を考える会などとの協働

少子高齢化や空き家の問題、わがまちの活力維持という課題解決に向け、市民団体の「桃花台を考える会」と桃花台活性化協働事業を進めます。令和4年度は、桃花台活性化のため、「桃花台音楽まつり」や、若い世代を呼び込む活動の一環として「桃花台を考える講演会」を開催します。

## 企業立地推進事業



地域活性化営業部 企業立地推進課  
(R4.4.1～ 企業立地・次世代産業推進課)

1 予 算 額 118,094千円

2 目的及び効果 企業立地の推進を図ることにより、地域経済をより豊かにし、雇用力を高め、地域の活性化を図るとともに、財源の確保につなげ、より安定した財政基盤を確立することで、産業都市「小牧」の力を持続的に高めます。

### 3 事業概要

#### ●小牧市企業立地促進補助事業 53,598千円

・市内に一定規模以上の工場等を立地する企業に対し、優遇制度として補助金を交付します。

	工場等新增設事業	既存工場等入居事業
補助金の額	新設又は増設した工場等に係る固定資産評価額に8%（市外から又は市内に工場等を20年以上有している企業は12%（いずれか1回に限る））を乗じて得た額以内	工場等に入居をするに伴い新たに取得した構築物、機械及び装置に係る償却資産の固定資産評価額に8%（市外から又は市内に工場等を20年以上有している企業は12%（いずれか1回に限る））を乗じて得た額以内
最高限度額	1億5,000万円	1,500万円

※住・工混在移転、航空宇宙関連、次世代成長産業のいずれかに該当する場合は補助率を2%上乘せします。



## ●小牧市内企業再投資促進補助事業 54,275千円

・愛知県の補助制度と連携し、市内に立地する企業の再投資を支援します。

補助対象	20年以上、市内に立地し工場等を有する企業で、工場、研究所の新增設等を行う企業
対象経費	固定資産取得費用(土地を除く)
補助率	10%以内(県支援分は5%以内)
限度額	10億円(県支援分では5億円)

## ●小牧市中小企業環境保全対策設備等導入補助事業 5,000千円

・周辺住民の生活環境を保全する効果が見込まれる「騒音・振動・臭気」を低減する設備の新規導入又は改修等を行う中小企業に対し、補助金を交付します。

補助対象	市内に立地している製造業などの中小企業
対象経費	設備の導入又は改修に係る費用
補助率	対象経費の50%以内
限度額	500万円



## ●小牧市企業立地インフラ整備支援補助事業 5,000千円

・工場等の新增設に伴うインフラ整備に対し、補助金を交付します。

補助対象	企業立地促進補助金又は市内企業再投資促進補助金等の対象となる事業を行う事業者
対象経費	道路、水路、水道施設の新設・改修に係る費用
補助率	対象経費の50%以内
限度額	500万円

新規

## 次世代産業



### インターンシップ受入助成事業

地域活性化営業部 企業立地推進課  
(R4.4.1～ 企業立地・次世代産業推進課)

1 予算額 480千円

2 目的及び効果 DX(Digital Transformation)の取組や自動車産業の大変革期の到来など、社会経済環境は大きく変化する中、次世代を担う産業の成長が求められています。次世代産業の発展には、優れた技術・技能を有する人材の育成・確保が必要とされています。

次世代産業の推進を図るため、次世代産業に取り組む企業のインターンシップの受入を支援します。

3 事業概要 市内に事業所を有する次世代産業関連企業が、学生をインターンシップとして受け入れた場合、当該受入に要した費用の一部を助成します。

#### 【次世代産業の一例】

- (1) 次世代自動車関連分野
- (2) 航空宇宙関連分野
- (3) 環境・新エネルギー関連分野
- (4) 健康長寿関連分野
- (5) 情報通信関連分野
- (6) ロボット関連分野 等



## こまき新産業振興センター運営事業



地域活性化営業部 商工振興課

1 予算額 36,338千円

2 目的及び効果 市内の産業力を高めるため、こまき新産業振興センターにおいて、市の施策とリンクした「成長産業への参入促進」「新事業展開の促進」「生産性革命の推進」を3つの柱として市内企業を強かにサポートし、将来を見据えた本市の持続的な産業・雇用・財政の基盤形成を目指します。

3 事業概要 新型コロナウイルス感染症の影響を経て、企業の生産性向上が一層求められる中、事業のデジタル化やDXの推進、生産・工程管理システム導入、IoTやAIなど新技術の活用等について積極的に支援します。また、販路開拓や新製品開発等による新事業展開や成長産業への参入、事業の多角化についても、様々な知識と経験を有する専門家が企業を訪問し、支援します。

また、市内企業のニーズに対応したセミナーやマッチングイベント等を開催します。



### こまき新産業振興センターの役割



成長産業への  
参入促進



新事業展開の  
促進



生産性革命の  
推進

# こまきプレミアム商品券発行助成事業



地域活性化営業部 商工振興課

1 予 算 額 263,000千円

2 目的及び効果 小牧商工会議所と連携して実施している「地域限定商品券事業」に対して補助を行い、市民生活を支援するとともに、地域の身近な店舗である市内の商業者を支援して、地域経済の活性化を図ります。

3 事業概要 平成23年度から小牧商工会議所と連携して実施している「地域限定商品券事業」について、令和4年度は、新型コロナウイルスの影響からの回復を支援するため、プレミアム率を20%として、総額14億4,000万円分のプレミアム商品券を発行して一定の規模で継続します。

(参考:令和3年度商品券)

え〜なも券



小牧市中央図書館

い〜なも券



【小牧発祥】名古屋コーチン